

新技術説明会



国内唯一の寒冷土木技術の試験研究機関が開発した新技術を紹介します。

開催日時

2020年11月18日(水)

13:15~16:30(受付開始12:15)

会場

コラッセふくしま

4階 多目的ホール

会場

(福島県福島市三河南町1-20)

**参加費
無料**



プログラム

13:15~13:20	開会挨拶 (開催の趣旨説明)	土木研究所 技術推進本部 寒地技術普及推進監 阿部 修也
13:20~13:50	堤防決壊時に行う緊急対策工事の効率化に向けた検討資料	寒地水圏研究グループ 上席研究員 前田 俊一
13:50~14:20	写真計測技術を活用した斜面点検手法	防災地質チーム 総括主任研究員 日外 勝仁
14:20~14:50	衝撃加速度試験装置による盛土の品質管理技術	寒地地盤チーム 主任研究員 佐藤 厚子
14:50~15:00	休憩	
15:00~15:30	すき取り物および表土ブロック移植による盛土法面の緑化工	寒地地盤チーム 主任研究員 佐藤 厚子
15:30~16:00	道路吹雪対策マニュアル	雪氷チーム 総括主任研究員 金子 学
16:00~16:30	全体質疑	

事前申込制

参加ご希望の方は、下記イベント情報ページ内の『寒地土木研究所 新技術説明会(福島)』お申し込みフォームより必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

また、参加申込時にCPDSを申し込まれた方は、受講証明書発行時にCPDS技術者証をご提示ください。

申込先(寒地土木研究所イベント情報)

<http://www.ceri.go.jp/contents/event>

(お問い合わせ先) 寒地土木研究所寒地技術推進室 (TEL: 011-590-4046)
 主催: 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
 後援: 国土交通省東北地方整備局

参加者の皆様へお願い

新型コロナウイルス感染の予防、拡散防止にあたり、ご来場の皆様には下記項目にご協力をお願い申し上げます。

- ・原則、事前申込みをされた方のみ参加とさせていただきます。
- ・発熱、咳の症状がある等、当日の体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えください。
- ・会場内はマスクの着用をお願いいたします。
- ・会場内に消毒液を設置いたします。こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。
- ・ソーシャルディスタンス確保のため、会場内の座席制限を行います。
- ・接触確認アプリ(COCoA)のインストールをお願いいたします

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

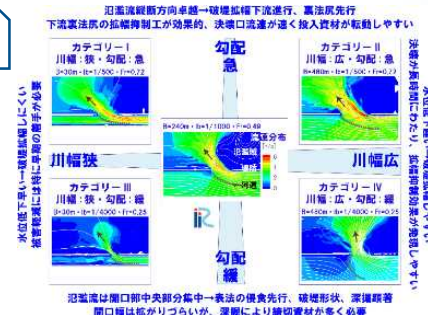
講演技術の概要

寒地土木研究所では、研究開発した技術の現場活用を図るため、技術者にとって関心が高いテーマについて講演を行っています。

技術の詳細については、こちらのURL (<http://chouseikan.ceri.go.jp/suishin/gijutu.html>)をご覧ください。

堤防決壊時に行う緊急対策工事の効率化に向けた検討資料

治水整備が進んでいる現在においても、豪雨災害時の堤防決壊による浸水被害が全国で発生しています。本検討資料は、堤防決壊時の緊急対策工事の効率化を考える際に必要となる河川特性に応じた決壊口の締切方法や、重機作業、使用する資機材の適応性について検討した内容を示したものです。各河川管理者が実施する堤防決壊時の緊急対策シミュレーション等の参考として本検討資料を使用することで、少しでも有効な方法を選択し、現場ごとの減災につながることを期待してとりまとめました。

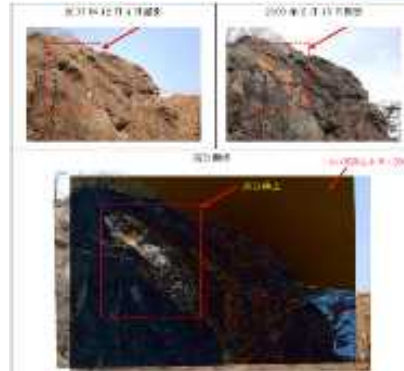


河道形状に応じた堤防決壊現象の分類図

写真計測技術を活用した斜面点検手法

斜面点検等で、落石や崩積土等の変状が確認されると、崩壊箇所の確認や大規模崩壊等の前兆の可能性などの検討が行われます。

デジタルカメラにより同一箇所から異なる時期に撮影した2枚の画像の補正・合成による色合いの変化から斜面変状箇所を抽出する「背景差分法」と、ステレオ画像法により作成した3D地形モデルから崩壊土量を算出する「変動量計測法」の2つの斜面点検手法を構築し、マニュアルとしてまとめました。



衝撃加速度試験装置による盛土の品質管理技術

盛土の品質管理は、砂置換法による密度試験では、結果の判明まで1日以上時間を必要としていたため、品質を確認してから作業しなければならない盛土施工においては、品質管理に時間を要し、工事の進捗に遅れが生じることがありました。そこで盛土の密度や強度を推定する機械として「衝撃加速度試験装置」を開発しました。

この装置を使用することにより、これまで砂置換法で管理していた盛土や安定処理した盛土の品質を“直接”“迅速”“簡易”に管理することができ、盛土の品質管理にかかる時間を大幅に低減できます。



衝撃加速度装置 測定状況

すき取り物および表土ブロック移植による盛土法面の緑化工

すき取り物および表土ブロック移植による盛土法面の緑化工法は、建設工事により発生するすき取り物を盛土法面の緑化材料として利用する方法と、工事箇所周辺の森林の表土をブロック状に採取して盛土法面に移植して早期に森林を復元する方法です。

これらの方法は、施工後十分植物が生育し、法面のゆるみや変状をほとんど発生しないで法面を保護できる技術です。また、追肥や水分補給などの維持管理が不要です。



すき取り物貼り付け

表土ブロック貼り付け

道路吹雪対策マニュアル

積雪地域においては毎年激しい吹雪の発生により十分な視界が確保できず、安全な道路通行に支障を来しており、確実な道路吹雪対策が求められています。

本マニュアルは、防雪林、防雪柵、その他吹雪対策施設（道路構造による吹雪対策、視線誘導施設）など、道路吹雪対策に関して記載しています。平成23年4月から北海道開発局の技術基準として通達されています。また、平成19年発行の「吹雪時を考慮した視線誘導施設マニュアル(案)」を統合するなど、本マニュアル1冊で吹雪対策全般を網羅しています。

北海道のみならず、本州や海外からも活用されています。

マニュアル公開ページ http://www2.ceri.go.jp/fubuki_manual/



防雪柵（吹き止め柵）設置状況

